

《 令和 7 年度 看護職員確保状況調査票 》

貴病院名 _____

ご記入者 _____

病院長の所在地 _____ 市・郡 _____ 町 _____ 役職 _____ 氏名 _____

●特に期日・期間の指定のない質問については、令和 7 年 6 月 1 日現在の状況をご回答ください。

問 1 貴病院での看護職員の就業状況について

1) 昨年度(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日まで)の採用・退職の状況についてお尋ねします。

	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
① 令和 6 年度はじめ(令和 6 年 4 月 1 日)の <u>常勤看護職員数</u> ※1 (令和 6 年 4 月 1 日付の <u>新規採用者は除いた人数</u> をご記入ください)	人	人	人	人	人
② 令和 6 年度(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)の <u>新卒常勤採用者数</u>	人	人	人	人	人
③ ②のうち、令和 6 年度末(令和 7 年 3 月 31 日)までに退職した数	人	人	人	人	人
④ 令和 6 年度(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)の <u>既卒常勤採用者数</u> ※2	人	人	人	人	人
⑤ ④のうち、令和 6 年度末(令和 7 年 3 月 31 日)までに退職した数	人	人	人	人	人
⑥ 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日の間に退職した <u>常勤看護職員数</u> (上記③・⑤、定年退職者を含む <u>すべての退職者数</u> をご記入ください)	人	人	人	人	人

※1 看護職員とは、保健師・助産師・看護師・准看護師をさします(看護補助者は含まない)。

常勤とは、フルタイム勤務および短時間勤務の正規雇用職員をさします(パート、アルバイト、臨時職員、嘱託等は含まない)。

※2 既卒常勤採用者とは、新採用者のうち、新卒でない看護職経験者をさします。

裏面へ

2)前問 1)～⑥でお尋ねした令和6年4月1日～令和7年3月31日の間に退職した常勤看護職員の職種や年齢・離職理由等について、下記の中から該当する番号をご記入ください。

※同じ系列病院内等での異動は離職に含まないようにご注意ください。また、15名以上の場合は、事前にコピーをしてご記入ください。
※A～Dについては、下記より選択してください。Bの回答が「30.その他」の場合は、理由をご記入ください。

退職者	職種(○印)				A. 年齢	B. 離職理由 (複数回答可)	C. 勤続年数	新卒者 (○印)	D. 新卒者については 最終専門学歴
	保	助	看	准					
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									

A. 年齢

1. 10 歳代
2. 20 歳代
3. 30 歳代
4. 40 歳代
5. 50 歳代
6. 60 歳代
7. 70 歳代

B. 離職理由

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 結婚 2. 妊娠・出産・子育て 3. 妊活 4. 家庭との両立が困難 5. 家業の手伝い 6. 健康上の理由(身体的) 7. 健康上の理由(精神的) 8. 親族の健康・介護 9. 配偶者の転勤 10. 転居 11. リフレッシュ 12. 他職種への興味 13. 他の職場への興味 14. 進学・研修・留学 15. 自分の適性・能力への不安 16. 昇進・昇給・給与に不満 17. 雇用形態に不満 18. 福利厚生に不満 19. 超過勤務が多い 20. 夜勤の負担が大きい 21. 休暇が取れない 22. 上司との関係 | <ol style="list-style-type: none"> 23. 同僚との関係 24. 医師との関係 25. 患者との関係(暴言・暴力など) 26. 医療事故への不安 27. 医療のIT化に適応できない 28. 定年退職・早期退職勧奨 29. 職場不適応 30. その他※
※理由をご記入ください |
|--|--|

C. 勤続年数

1. 0～1 か月未満
2. 1～3 か月未満
3. 3～6 か月未満
4. 6 か月～1年未満
5. 1～3 年未満
6. 3～5 年未満
7. 5～10 年未満
8. 10～20 年未満
9. 20 年以上

D. 新卒退職者の最終専門学歴

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 准看護師養成所 2年 | 准看護師 |
| 2. 高等学校 衛生看護科 3年 | 准看護師 |
| 3. 高等学校 5年一貫 | |
| 4. 高等学校 専攻科 2年 | |
| 5. 看護師養成所 2年課程 | 看護師 |
| 6. 看護師養成所 3年課程 | (助産師) |
| 7. 看護師養成所 通信課程 | (保健師) |
| 8. 看護系短期大学 3年 | |
| 9. 看護大学 | |
| 10. 保健師学校(短大専攻科含) | 助産師 |
| 11. 助産師学校(短大専攻科含) | 保健師 |
| 12. 看護大学大学院 | |

問2 貴病院の看護職員の確保・定着のための取り組みについてお尋ねします。

1) 貴病院では看護職員の確保・定着のためにどのような取り組みを行っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

		すでに取り組んでいる	検討中	取り組む予定なし
育児・介護	①院内(病院委託含む)託児室の設置			
	②学童保育所の実施			
	③夜間保育室の設置			
	④病児保育室の設置			
	⑤病後児保育室の設置			
	⑥育児・介護費用補助			
	⑦育児・介護休暇からの復帰支援			
	⑧病気休暇からの復帰支援			
教育体制	①院内での教育研修の計画的実施			
	②院外での教育研修への参加・補助			
	③中途採用者の研修体制の充実			
	④勉学休職制度			
	⑤奨学金制度			
	⑥資格取得支援			
	⑦採用パンフレット・説明会等でのキャリアパスの明示			
賃金・評価	①ベースアップ等の賃上げや賃金の見直し			
	②能力や適性に応じた昇給・昇進			
	③成果や業務内容に応じた人事評価			
	④定期的な人事評価・面談の実施			
労働環境	①短時間正職員制度の導入			
	②法を上回る短時間勤務制度の導入			
	③仮眠環境の整備、仮眠スペースの確保			
	④職場コミュニケーション向上のための施策			
	⑤職場環境・人間関係への配慮(ハラスメント防止等)、相談体制の充実			
福利厚生	①家賃・住宅にかかる費用の補助・手当			
	②慶弔・災害見舞金			
	③リフレッシュ休暇・アニバーサリー休暇など			
人事ほか	①能力や適性に応じた部署異動			
	②希望に応じた正規・非正規の双方向への転換			
	③70歳までの定年引上げ・定年制の廃止・70歳までの継続雇用制度の導入			
その他(具体的内容) 				

問3 令和6年度診療報酬改定(賃上げに向けた評価の新設)についてお尋ねします。あてはまる番号に○をつけてください。

令和6年度診療報酬改定では、「現下の雇用情勢も踏まえた人材確保・働き方改革等の推進」を重点課題とし、看護職員やその他の医療関係職種について賃上げを実施していくための評価として、「ベースアップ評価料」を新設しました。

1)このことについて、貴病院内で話し合いを行いましたか。

1. 行っていない	2. 行った (誰と:)
-----------	---------------

2)貴病院は、「ベースアップ評価料」の届出を行いましたか。

1. 届出を行った ⇒ 3)へ	2. 届出なかった ⇒ 4)へ
-----------------	-----------------

3) 2)で、「1. 届出を行った」と回答された方にお尋ねします。あてはまる番号に○をつけてください。

①引き上げ方法	1. 令和6年度にまとめて引き上げ 2. 令和6年度から令和7年度にかけ2年間で段階的に引き上げ
②引き上げ内容	1. 基本給の引き上げ 2. 基本給とは別に、手当として「一定額または一定率」を支給(対象者全員一律) 3. 基本給とは別に、手当として「基本給の一定率」を支給
②対象職員(全体)のベースアップ等による賃金増率	1. 2.0% 未満 2. 2.0% 以上 2.5% 未満 3. 2.5% 以上 3.0% 未満 4. 3.0% 以上 3.5% 未満 5. 3.5% 以上 4.0% 未満 6. 4.0% 以上

4) 2)で、「2. 届出なかった」と回答された方にお尋ねします。理由としてあてはまる番号に○をつけてください。

1. 令和6年度以前に賃上げを行ったから 2. 令和6年度以降の診療報酬改定において、存続するかどうか明らかではないため 3. 全職員が対象ではなく、公正性を欠くため 4. 病院の増収にはならないため 5. ベースアップ評価料のみで賃上げた金額は賄えないため 6. 申請手続きやその後の報告が面倒なため 7. その他 ()
--

5)貴独自の処遇改善への取り組みがございましたら、ご記入ください。

--

新卒看護職の採用がない病院様 は、以上で終わりです。ありがとうございました。

※ここからは、新卒看護職の採用者がいる病院様への質問項目です。

問4 貴病院の新卒看護職員の定着状況についてお尋ねします。

1) 昨年度の傾向として、新卒看護職員の入職後早期(1年以内)の離職が増えていますか。

1. 増加する傾向にある	2. 特に変わらない	3. 減少する傾向にある
--------------	------------	--------------

2) 入職後早期(1年以内)に離職した新卒看護職員について、以下の理由での離職は増えていると感じておられますか。

①「健康上の理由(身体的)」による離職者	1. 増加する傾向にある	2. 特に変わらない	3. 減少する傾向にある
②「健康上の理由(精神的)」による離職者	1. 増加する傾向にある	2. 特に変わらない	3. 減少する傾向にある
③「職場不適応」による離職者	1. 増加する傾向にある	2. 特に変わらない	3. 減少する傾向にある

3) 新卒看護職員の職場定着を困難にしている要因として、どのような事柄があるとお考えでしょうか。

ご記入者(看護代表者様・事務長様)のお考えをお聞かせください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. コロナ禍での臨地実習不足による影響(看護技術やコミュニケーションに対する自信のなさや強い不安・緊張など)
2. 看護職員に従来より高い能力が求められるようになってきている
3. 看護基礎教育終了時点の能力と看護現場で求められる能力とのギャップが大きい
4. 現場の看護職員が新卒看護職員に仕事の中で教える時間が無くなってきている
5. 指導者の育成が不十分
6. 指導者との不調和、熱意の差異
7. 新卒看護職員を計画的に育成する体制が整っていない
8. 看護業務が整理されていないため、新人が混乱する
9. 交代制など不規則な勤務形態による労働負担が大きい
10. 個々の看護職員を「認める」「ほめる」ことが少ない職場風土
11. 新卒看護職員が「自分が医療事故を起こすのではないか」という不安が強く、委縮している
12. 現代の若者の精神的な未熟さや弱さ
13. 新卒看護職員が看護の仕事の魅力を感じにくい状況がある
14. 希望する病院や部署と本人の能力・適性のギャップが大きい
15. 社会人基礎力が育たない
16. その他

問5 昨年度の新卒看護職員に対する院内の教育・研修体制についてお尋ねします。

例年の新人研修とは別に、追加研修(講義や演習)の実施、又は研修の強化をしましたか。実施したものに○をつけてください。

1. 注射など医行為の実技演習
2. 療養上の世話の看護技術の実技演習
3. 夜間帯の看護や複数患者受け持ちなど、統合分野(看護の統合と実践)のシミュレーションや演習
4. 薬に関する知識教育
5. 医療安全に関する講義・演習
6. 感染予防に関する講義・演習
7. コミュニケーション技術に関する講義・演習
8. その他
9. 追加研修や研修強化はしていない

裏面へ

問6 貴病院において、新卒看護職員に対する職場定着・マッチング促進のため、以下にあげる対策等を行っていますか。
それぞれあてはまるものに○をつけてください。

	行っている	行う予定	行う予定なし
①技術実践教育を重視した教育・研修プログラムの実施			
②新卒者への精神的支援に重点をおいた研修の導入			
③新卒者を夜勤に組み込む時期を従来より遅くする			
④看護職員を対象とした新卒者受け入れのための教育・研修の実施			
⑤看護職員のメンタルヘルス対策として、相談を受ける体制の整備 (リエゾンナース、カウンセラー、精神科医、その他の担当者の配置を含む)			
⑥就職活動中の学生を対象にした、オンラインでの説明会			
⑦就職活動中の学生を対象にした、職場体験の実施 ※臨床看護実習や施設見学とは異なる			
⑧就職予定者(内定者を含む)の父母に対する職場説明会の開催			
⑨希望する部署への配置			

問7 新卒採用者の離職率は高い状況が続いています。
新卒看護職員の離職防止のための方策やご意見・要望等がございましたらご記入ください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。